



武蔵台学園だより 10月号

東京都立武蔵台学園 校長 金子 猛
〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-8-28
電話 (042) 576-7491 FAX (042) 576-7526

ホームページアドレス <http://www.musashidai-sh.metro.tokyo.jp/>

病院内分教室の取組について

副校長 小松 弘喜

東京都立小児総合医療センターの6階には、屋外プールがあり、ひだまり学級の児童・生徒が体育の水泳の授業で使用します。今年は7月から9月にかけてWBGTが31以上となり、分教室も水泳指導を中止したことがありました。実施できる時は、病棟と連携しながら児童・生徒の体調を十分に把握した上で、プールサイドに水を撒いたり入水時間を調整したりするなどの工夫をしながら、安全に水泳指導を行いました。

さて、都立武蔵台学園府中分教室では、地域の学校には夏季休業中に水泳指導や補習を実施していることに倣って、夏季休業中にも様々な取組を行っています。その一つとして今年度も「夏休み教室」と称し、教科指導や学年を超えた交流活動を行いました。わかば学級では、新たに読書活動の一環として、図書POPを制作しました。児童・生徒自身が読んだ本の中から、周りの児童・生徒に薦めたい本を選び、イラストや言葉で素敵なPOPを制作し図書コーナーに飾りました。図書コーナーが以前より明るく楽しい雰囲気になっています。



小2 児童作品

わかば学級で実施している「星空教室」は、府中分教室前身の都立久留米特別支援学校清瀬分教室の頃から続いており、今年で第32回（35年目）を迎えました。星空教室では例年、講義の後に、病院5階の中庭「丘の広場」で天体観測を行っています。今年は曇天からの小雨に見舞われ、講義のみのプログラムとなりましたが、講師の方が所有している本物の隕石の欠片を観察する体験ができました。小さい隕石でも予想以上に重く、実際に隕石を持った児童は、「うわっ！重い！」と、思わず言葉が出るほど驚いていました。分教室では今後も独自の取組を進めてまいります。

★コラム 府中分教室【通常の教育活動へ】★

分教室は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も、病院内のルールに基づいた感染症対策を行っておりましたが、6月より病院の感染症対策が新型コロナ感染症流行前に戻ったことにより、学校の行事等も以前に近い形で実施できるようになりました。

ひだまり学級は、11月に学習発表を行う「ひだまり祭」があります。実行委員会を立ち上げ、児童・生徒が準備や当日の司会などを行います。発表会に向けて準備・練習中です。

わかば学級は、11月に作品展示を行う「わかば祭」があります。今年度は、親子で作品鑑賞をすることができるようになりました。今は作品制作をがんばっています。